

謝 辞

このたびは、多くの皆様方のご協力を得まして、「JAPIO YEAR BOOK 2026」を発行することができましたことを、心より御礼申し上げます。

特許庁 河西 康之 長官、野仲 松男 特許技監から巻頭のお言葉を賜りますとともに、今年度の特集テーマである「生成 AI 時代の特許翻訳」において第一線でご活躍されている皆様方にご寄稿を賜りました。ご多用のなか、ご執筆頂きましたこと、ここに深甚なる感謝の意を表します。

また、国立研究開発法人産業技術総合研究所 辻井 潤一 フェローの特別寄稿、並びに国立情報学研究所 黒橋 禎夫 所長からの特集記事を賜りますとともに、官公庁、各種団体、大学、企業等の各界を代表される方々から多数のご寄稿や情報システム・サービスのご紹介を賜りましたことを、重ねて厚く御礼申し上げます。

本誌に掲載された情報は、知財制度や技術開発に関係される多くの方々に有益な情報となり、さらに情報システム・サービスを提供しておられる各社様の今後のご発展の一助になるものと確信しております。

当財団は、質の高い特許情報を提供することにより、経済社会への貢献を目指すことを理念として、企業の技術開発の促進等に貢献すべく、知財情報の充実と普及啓発に取り組んでおります。

個人や組織を取り巻く環境や技術が急速に変化、進化する大変革の時代において、今後もこの理念を時代に沿った形で実現していくために、知財情報の「機械翻訳」、「検索」、「分析」に関連する技術の研究や、急速に進展してきた特許情報、意匠情報、商標情報への AI 技術の活用研究を通じ、当財団が提供する情報の品質向上及び高度化に努めて参ります。さらに「産業日本語」の研究・普及、「JAPIO YEAR BOOK」発行や、「知財・情報フェア&コンファレンス」などの機会を通じて、知財情報に関する最新技術動向を広くお知らせし、社会に貢献していく所存です。また、デザインに特化した専門紙である「DESIGN PROTECT」も発行しておりますので、そちらもぜひご覧ください。

今後とも、私ども一般財団法人日本特許情報機構に対して、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、謝辞とさせていただきます。

一般財団法人日本特許情報機構 専務理事 小林 明